

World Triathlon 競技規則 主な変更点

2. 選手規範

2.1 一般規範

- ・レースで使用する機材が安全基準に準拠し、適切な状態にあることを確認する

2.2 外部支援

・審判長は、最初の選手がトランジション1に到着する前に事故が発生した場合、認定されたチームサポートにパッキングしたタイヤの修理あるいはホイールの交換を許可することができる。

・レース進行中、選手は同じレースの他の選手にレースに必須の用具を提供してはならない。具体的に他の選手に提供してはならない用具には、自転車そのもの、自転車のフレーム、ホイール、ヘルメットが含まれるが、これらに限定されない。これに対するペナルティは、両方の選手の失格となる。選手は、提供者が自分のレースを続けることができるという条件で、同じレースに参加している他の選手にその他の用具を提供することができる。

2.7 レジストレーション

2.7 Registration

・混合リレー競技説明会(新規)

ミックスリレー競技説明会:すべてのWorld Triathlon 混合リレーイベントで、技術代表が競技説明会を実施する。個人競技の競技説明会と一緒に実施しても、個別に実施してもよい。各チームから、1人の選手、コーチ、またはその他の認定された代表団サポートメンバーが競技説明会に出席しなければならない。代表者が競技説明会に出席しないチームには、次のペナルティが適用される

- 欠席することを技術代表に通知せず競技説明会に参加しなかったチームは、スタートリストから削除される
- 競技説明会開始後にチーム代表が説明会会場に入ったチームと、技術代表に欠席を通知して競技説明会を欠席したチームは、最初の選手のトランジション1で10秒のタイムペナルティを受ける

2.8 ユニフォーム

・エイジとパラトリアスリートは、全ての距離の競技で肘を覆わない袖のあるユニフォームを着用することができる。ユース、ジュニア、U23、およびエリート選手は、スタンダードおよびそれより短い距離のトリアスロンを除くすべての距離のマルチスポーツで肘を覆わない袖のユニフォームを着用できる

・技術代表が承認すれば、ウェットスーツが禁止されている水泳競技を除き、アームカバーあるいは長袖を使用できる。極端な気象条件の場合、技術代表は、長袖の許可あるいは着用義務をメディカル代表に(できれば)相談して決定することが委ねられる

・ウィンタートリアスロン大会では、長袖、長ズボンが許可される

- ・選手は競技エリアにいる間、ユニフォームを両肩の上から着用しなければならない(従来は競技中)
- ・技術代表はメディカル代表またはイベントアドバイザーグループと協議した後、安全または健康上の理由(すなわち、皮膚がん)から、上記の規則からの個人的または例外的な逸脱を承認する場合がある。ただし水泳競技中は例外的な逸脱はなく手と足を露出させる

2.9 レースナンバー

・ボディーマーキング

- エリート、U23、ジュニアとユースおよびパラトライアスロン
 - ・ボディーマーキングは、競技説明会で World Triathlon の技術代表による特別な指示が無い限り、両腕と両脚に見えるように付けなければならない。腕では、ボディーマーキングをできるだけ肩の近くに付ける必要がある。脚では、ボディーマーキングをできるだけ腰の近くに付ける必要がある。
- エイジグループ
 - ・各腕のできるだけ肩の近い位置で見えるように付けなければならない

3.ペナルティ

3.3 タイムペナルティ

- ・指定された場所で課せられる。異なる場所で止まった場合は、ペナルティを受けたとは認定されない

4.スイム

4.1 総則

- ・選手が意図的に他の選手をターゲットとして競技を妨害、不当なアドバンテージを獲得および危害を加える可能性がある場合は失格となり、資格停止または追放の可能性があると、World Triathlon 仲裁裁判所に報告されることがある
- ・World Triathlon チャンピオンシップシリーズ、World Triathlon カップ、World Triathlon パラシリーズ、または World Triathlon パラカップの場合、アスリートが年に2回この規則に違反し罰せられた場合、その選手は上記の大会の次の大会に出場できない。この制裁措置は、3回目、4回目、またはその後の違反にも適用される。

4.2 ウェットスーツの利用

- ・エイジ 60 歳以上のカテゴリーについて、すべての距離で 24.6℃以上で着用禁止(従来 1500m 以下は 22℃以上)

4.5 スタート位置選択(エリート/U23/ジュニア/ユース)

- ・審判員は各選手に1人ずつスタートに移動するように指示
- ・ランキングが存在しない場合、あるいはその他の特別な状況の場合、技術代表は、このプロセス(選手によるスタート位置の選択)をキャンセルし、レースナンバーに従ってスタート位置を割り当てることができる

4.6 スタート位置選択:(エイジグループ)

- ・同じウェーブの選手がプレスタートエリアにグループとして集まる

- ・審判員は、選手がスタートエリアに移動することを許可し、このプロセスを安全に保つために流れを制御する
- ・選手は、使用されていないポジションを選択します。審判員は、選手にスタートラインの混雑したエリアから空いているエリアに移動するように依頼する場合があります。

4.7 スタート手順(OGの影響と思われる)

- ・スタートは、大勢の選手が一斉にスタートする集団スタートである。あらゆる大会やカテゴリで使用できる
- ・全ての選手が所定の位置につき(スタートラインの審判員によって確認および記録された後)、**競技コース全体がスタート準備できていることが確認された後**、「On your marks!」とコールされ、選手はスタートラインに踏み出す(ラインを踏むことなく)
- ・**全ての選手がスタートホーン直後にレースを開始ができない場合にも、不正スタートが宣言されることがある。**
- ・エイジ大会の場合、集団スタートはいくつかのウェーブで構成される場合がある。異なるエイジカテゴリが、同じウェーブにグループ化される場合がある。また、多数の選手がいるエイジカテゴリは分割される場合があるが、この場合は同じエイジカテゴリの選手のみが同じウェーブに含まれる
- ・割り当てられたウェーブよりも前のウェーブでスタートした選手は失格となる
- ・割り当てられたウェーブに遅れた選手は、スタート審判員の承認が必要になる。その選手のスタート時間は、元々割り当てられたウェーブのスタート時間になる

4.9 スタート手順(インターバルシステム)

- ・インターバルスタートは、一緒に競技をする異なるグループの選手に異なるスタート時間が与えられる場合に定義される。通常、PTWC および PTVI イベントで使用される

4.10 スタート手順(タイムトライアルシステム)

タイムトライアルスタートシステムは、同じイベントに参加する選手が指定されたスタート時間にレースをスタートするときに定義される。通常、タイムトライアル予選ステージのあるイベントで使用される。

4.11 スタート手順(ローリングスタート)

- ・ローリングスタートは、選手が定義された時間範囲内のいつでもスタートラインを越えることができるときに定義される。**2つの手順**がある。
 - **決められたスタート時間でのローリングスタート**:選手は個人または最大5人のアスリートのグループで、事前に決められたタイムスロットで順番なしでスタート
 - **連続ローリングスタート**:選手は連続的にレースをスタート

4.12 用具

- ・全ての選手はスイム競技中**ナンバーのついた**公式のイベントスイムキャップを着用しなければならない
- ・ウェットスーツは±0.3 mmの公差を認める
- ・ウェットスーツ必須の場合、**ウェットスーツは少なくとも胴体を覆う必要がある**

5 自転車

5.2 用具

- ・エリート、U23、ジュニアやユースのドラフティング許可レースで、ハンドルバーのクリップオンを禁止(2023/1/1より)
- ・禁止用具:ドラフティング許可競技におけるサドル後ろの水ボトル

5.5 ドラフティング

- ・ドラフティング禁止競技で、成功しない連続する追い越しの試みは、ドラフティング違反になる可能性がある

5.8 乗車ポジション

- ・腕または肘がハンドルバーまたは肘置きに接触している間、手はクリップオンをつかむ
 - ・クリップオンの使用禁止に関連しており、2023年1月1日に施行される:ライディングポジションでは、足はペダル、手はハンドルバー、座席はサドルでのみサポートされる必要がある
 - ・ドラフティング禁止レース中は、ハンドルバーのサポートポイントとして前腕を使用できる
- :全てのレースで許可される



ドラフティング禁止レースだけで許可される

全てのレースで禁止される



6 ラン

6.4 禁止用具

- ・松葉杖、杖、ポール、または腕で押ししたり引いたりして進行を助けるための用具(パラアスリート以外)

8 競技カテゴリー

8.1 世界選手権

- ・以下の競技と形式を追加
 - チームリレー:U23/ジュニア別を
 - エリミネータ形式:Elite
 - スーパースプリント:トライアスロン
 - ウインターデュアスロン
 - クロスデュアスロン

- ・国内競技団体および大陸連合は、世界選手権の競技を国内選手権およびコンチネンタル選手権に含めるように「推奨」すべき

10 イベント（A.安全と環境とB.イベントに再構成）

10.2 水質情報と意思決定フロー

- ・水質データは、サンプル採取後 7 日以上経過した結果は受け付けない
- ・オリンピック・パラリンピックでは、さらに水のサンプルを採取(3 年前から大会 2 日後まで)

10.3 暑さによる変更

- ・メディカル代表またはレースメディカルディレクターが WBGT の測定
- ・WBGT を測定し、大会主催者は催行の意思決定を行う。レース中は、スポーツインフォメーションセンターとアスリートラウンジで気象情報および WBGT 指数を 5 段階のカラーフラッグシステムで提供
- ・スプリントおよびスタンダードの大会で、非常に高い(赤フラッグ)の場合、スタンダードからスプリントへの変更や、大人数での医療支援が難しい場合は延期を考慮する
- ・スプリントおよびスタンダードの大会で、危険リスク(黒フラッグ)の場合、延期または中止を考慮しなければならない
- ・ミドルおよびロングの大会で、リスク(高い、危険)で行う時には、技術代表～イベントアドバイザーグループ議長の会議による合意が必要

10.4 スイムの潮流

- ・直線では 1.5m/s 以上、90 度以上の角度で旋回する場合は 1m/s 以上の潮流がある場合レースの延期または中止

10.5 雷雨と雷

- ・落雷が会場から 13 キロ以内にある場合レースを中止し、選手を安全な場所に避難させる必要がある

10.6 ウェーブスタート

- ・パラトライアスロンの人数の変更

10.9 サポートチーム(コーチ・メディカル)

- ・国内競技団体の割り当て枠が 3 以上の場合、異なる性別の代表者が参加し、そうしないと割り当て枠が 1 減る

16 チームリレー

16.2 定義

- ・ミックスリレー:リレー順の変更、男子、女子、男子、女子。ウィンターデュアスロン競技の追加
- ・2x2 ミックスリレー:リレー順の変更、男子、女子、男子、女子

16.6 ペナルティ

- ・定義の明確化および通知の期限の明確化

16.13 エイジグループミックスリレールール

- ・チーム編成申告の変更
 - チームエントリーの際、チーム構成は記載しなくなった
 - レース10日前にチーム構成をリザーブと一緒に提出
 - レース前日の19:00-20:00に、リザーブリストの選手と交代できる

17 パラトライアスロン

17.3 パラトライアスロンメダル大会

- ・東京 2020 大会でメダルイベントのない競技クラスの選手が上位で出場できる特例削除

17.5 クラスの参加資格と競技フォーマット

- ・全ての競技クラスが同時にスタートするときの調整タイムが変更 (PTWC2 男子女子、PTVI2/PTVI3 男子女子)

17.6 パラトライアスロン競技説明会

- ・PTWC1 のキャップ変更 (赤 → 赤、黄または緑)

17.13 パラトライアスロン PTWC1 と PTWC2 のスイム

- ・ウェットスーツの厚さの明記、5mm ± 0.3mm の厚さを適用

17.18 外部支援 (新規)

- ・技術代表はパラトライアスリートが援助を受けることができるコース上のエリアやセクション、提供される援助および適用される指示や条件について決定する

18 ウィンタートライアスロンとウィンターデュアスロン

18.1 総則

- ・ウィンタートライアスロンの定義の変更
従来の 3 区間に加え 6 区間を定義 (ラン、マウンテンバイク、クロスカンリースキーを連続 2 回)
- ・ウィンターデュアスロンの定義 6 区間 (ランとクロスカンリースキーを連続 3 回)

18.5 スキー

- ・TD は指定エリアでクラシックスタイル必須を決定できる
(スペシャルゾーンでのダブルポーリングの項目削除)
- ・フィニッシュシュートの定義変更
- ・フィニッシュシュート内では追い越しを除き通路の変更不可 (追加)

19 クロストライアスロンとデュアスロン

19.4 マウンテンバイク

・ドラフティングの加筆

22 アクアバイク

22.1 総則(全面改訂)

- ・ショートランとフィニッシュの追加
- ・ショートランは 1km を超えない
- ・トライアスロンと併催のときは、トライアスロンのスイムとバイクの距離で実施

22.3 特別ルール

- ・アクアバイクとトライアスロンが併催されるときは、トライアスロンのルールを適用
- ・トライアスロンのルールは、アクアスロン単独大会にも適用

23. 附則 A : 競技の距離とエイジの要件

・種目と距離の変更

26. 定義

- ・エリート選手、エリート競技、競技エリア (FoP) の定義

27. 附則 E: 資格とランキング基準

2. スタートリストとウェイティングリスト管理手順の変更
3. 欠場の結果取られる措置の変更
4. ジョーカーの変更
7. 招待の変更
8. 交代の変更
9. 遅い出場取り消しの加筆
メディカル代表の証明により競技説明会の免除でのペナルティはない
10. 同じ週末に開催されるイベントの手続きの加筆

28. 附則 F: World Triathlon 認定識別ガイドライン

World Triathlon ロゴマークとロゴに変更

39. 附則 R: エリミネーターフォーマットによる競技

・決勝フェーズでレースが中断された場合の措置追加

- ・第 1 ステージの途中でレースが中断された場合、レースの結果は次のように選手を並べる
 - 1) 最初に、予選から直接出場した選手を予選のタイム順とする
 - 2) 次に、再予選のタイムにより出場した選手を再予選のタイム順とする
- ・第 2 ステージ、第 3 ステージの途中でレースが中断された場合は、最後のタイミング計測地点での順位が選手の順位となる。予選不通過、DNF の場合は直近のステージのフィニッシュの順位で決定する。

以上